

報道機関各位

北九州市で初！



令和8年7月31日
北九州市産業経済局

～日本DX大賞2026 支援部門～ 「北九州地域DX共創モデル」が奨励賞を受賞しました！

このたび、(公財)北九州産業学術推進機構が、7月22日に開催された「日本DX大賞2026」の支援部門において、奨励賞を受賞されましたので、お知らせいたします。

本市と同機構は、市内中小企業におけるロボット導入やDX推進による経営課題の解決に向けて、機運醸成から実践までの切れ目のない伴走支援を共同で実施してきました。今回の受賞は、こうした地域一体となった支援体制とDX推進への取組が評価されたものです。

つきましては、ぜひ広く周知いただきますようお願いいたします。

1 日本DX大賞2026

概 要：DXを通じて社会やビジネスの課題を解決し、持続可能な成長を実現する取り組みを表彰するアワード

主 催：日本DX大賞実行委員会
(日本デジタルトランスフォーメーション推進協会、
ノーコード推進協会、Re-Innovate Japan)

後 援：総務省、(独)情報処理推進機構、(独)中小企業基盤整備機構ほか

2 受賞内容

受賞者	取組概要
(公財) 北九州産業学術推進機構	地域企業同士が互いに課題や実践知を持ち寄り、学び合いながらデジタル化・DXを進める環境の形成を目的とし、「北九州DXツアー」「HAGUKUMIプログラム」「地域DX推進レポート」に取り組んでいる。詳細は、次頁「取組内容」のとおり。

写真:表彰式の様子
(7月22日開催)



■取組内容

①北九州DXツアー

地域内でDXに取り組む企業の現場を訪問し、設備や仕組みを見るだけでなく「どこから始めたのか」「現場をどのように巻き込んだのか」「実際にどのような効果があったのか」など実践の過程を共有する視察。

自社でも取り組める可能性を具体的に考える機会を提供している。

②HAGUKUMIプログラム

地域課題や業界共通課題の解決に向けて、企業・団体・支援機関等による共創活動を支援するプログラム。

課題整理、仲間づくり、実証活動、情報発信を通じて主体形成を後押しすることで、共創関連イベントには延べ591人が参加し、9つの共創団体が形成され活動している。

③地域DX推進レポート

地域DXを一過性の事業として終わらせず、地域として目指す姿を共有するため「地域DX推進懇談会」での議論を踏まえたレポート。

北九州地域におけるDXの現状と課題、目指す姿、取り組みの方向性に加え、行政、支援機関、企業、大学、金融機関、メディア等に期待される役割を整理し取りまとめた。

上記の活動から、企業同士による新たな業務提携や共創活動で開発されたIoTサービスのテスト導入などに繋がり、企業間の交流が課題の具体化、実証、導入、個社支援へと循環し始めている。



■参考URL

日本DX大賞について

<https://dx-awards.jp/>

受賞内容について（（公財）北九州産業学術推進機構）

<https://www.ksrp.or.jp/robo-dx/business/dx/meetup/>

【問い合わせ先】

（北九州市のDX施策に関すること）

産業経済局中小企業振興課 片山（課長）、竹本（係長）

TEL：093-873-1433

（受賞内容に関すること）

（公財）北九州産業学術推進機構 ロボット・DX推進センター 角屋（DXセンター長）

TEL：093-695-3077